

デジタルライブラリーをもっと身近に！もっと楽しく！

NDLデジタルライブラリーカフェ

国立国会図書館のデータ活用の可能性を探る講演会

第1回

2017年11月29日（水） 13:30～16:30

「NDL × データ可視化」

ゲストスピーカー

矢崎 裕一 氏（東京大学空間情報科学技術センター協力研究員、
Code for Tokyo代表）



第2回

2017年12月2日（土） 13:00～17:00

「地域資料を最新規格でお手軽に使いやすくしてみよう」

ゲストスピーカー

永崎 研宣 氏（人文情報学研究所主席研究員）



© OpenStreetMap contributors (<http://www.openstreetmap.org/copyright>)

会場：国立国会図書館 東京本館 新館3階人事課大会議室

東京都千代田区永田町1-10-1

お申し込み：下記ウェブサイトをご覧の上、11月17日（金）までに

下記ページの申込フォームからお申し込みください。

<http://lab.ndl.go.jp/cms/digicafe2017>

お問い合わせ：国立国会図書館 電子情報部 標準化推進係

電話 03-3581-2331（代表）

Email : opendata@ndl.go.jp

参加無料
各回定員
20名
(申込先着順)

NDLデジタルライブラリーカフェとは？

国立国会図書館では、「国立国会図書館デジタルコレクション」をはじめ、様々なデジタルライブラリーを開発、インターネットを通じて提供しています。これらのデジタルライブラリーは、図書館内での利用はもちろん、研究やアプリケーション開発などへ活用の場が広がっています。

デジタルライブラリーにかかわる研究や最新動向をもっと身近に、もっと楽しくする講演会を開催します。講演会は、「サイエンスカフェ」*の手法を取り入れ、研究者や第一線で活躍されている人をゲストにお迎えし、ゲストが紹介する最新の話題について、参加者を交えて語り合ったり、作業を行います。

参加は無料で、どなたでもご参加いただけます。お気軽にご参加ください。

*「サイエンスカフェ」とは、科学者と市民が気軽に科学の話題について語り合う場を作ろうという試みです。市民と科学者、研究者をつなぐ新しいコミュニケーション手法として、大学や研究機関で広く行われています。「NDLデジタルライブラリーカフェ」では、デジタルライブラリーに関係のある様々なテーマを取り上げ、紹介します。

各回の概要

第1回

11月29日(水)13:30～16:30

NDL × データ可視化

ゲストスピーカー

矢崎 裕一氏

(東京大学空間情報科学技術センター協力研究員、Code for Tokyo代表)

「データ可視化」とは、データに含まれる情報(事実・示唆)を発見し、視覚的な表現(画像・グラフ・図・表)にすることで分かりやすく伝えること、またそのための技術です。近年、量と多様性が爆発的に増加したデータの中から特徴や傾向を把握する手段として、データ可視化は注目を集めています。

第1回では、データ可視化の実践と普及に携わっている矢崎裕一氏をゲストにお招きします。「国立国会図書館インターネット資料収集保存事業」に保存された自治体サイトのデータをもとに作成した可視化作品についてご紹介いただいたあと、国立国会図書館が収集した資料のデータ(書誌データ)の可視化から見えてくる近年の出版情報の傾向についてお話しいただきます。

(2017.10.17 作成)

国立国会図書館

第2回

12月2日(土)13:00～17:00

地域資料を最新規格でお手軽に使いやすくしてみよう

ゲストスピーカー

永崎 研宣氏(人文情報学研究所主席研究員)

「国立国会図書館デジタルコレクション」には、約266万点のコンテンツの画像が含まれ、中には地域の歴史や風土に関する資料も多く含まれています。

第2回では、人文学におけるデジタル技術の応用に関する研究に携わっている永崎研宣氏に、最新の画像共有規格IIIF(トリプルアイエフ)を使って、このデジタルコレクションのコンテンツを使いやすく、地域資料に含まれる情報を発見しやすくする方法を教えてください。

IIIFとIIIFに対応するアプリケーションを使って、参加者が選んだ地域資料の画像に注釈を付けたり、地図や年表上に表示させたりする作業を通して、デジタル画像を用いたアプリケーションの作成やサービス提供のヒントを見つけましょう。

※第2回ではパソコンを用いた作業を行います。

無線LANに接続可能なご自身のパソコンをお持ちください。(電源および無線LANは会場にて提供)

※地域資料の例：

http://dl.ndl.go.jp/ja/local_history.html